

いきいきとした町づくりをめざして

議会だより かつうら

No.26

2004. 1. 30 発行

発行 徳島県勝浦町議会
編集 議会広報調査特別委員会
〒771-4395 徳島県勝浦郡勝浦町久国
TEL (08854) 2-2511

補正予算5,400万円を可決 — 2

職員給与2,000万円引き下げ — 4

看護師長を外部から — 5

民活で広域ごみ処理施設 — 5

活発な合併論議 — 6

みんなが仲よく暮せる町に — 16



寒風の中頼もしい一斉放水

万円を追加 34億8,915万円に

補正の主なもの

総務費 (選挙費、職員給与見直し)	▲1,580万円
農林水産業費 (中山間直接支払制度、林道補助金)	6,295万円
民生費 (老人保健特別会計繰出金等)	429万円
衛生費 (小松島市外三町村衛生組合負担金追加分)	161万円

特別会計補正予算

病院事業特別会計 (職員給与見直しなど)	▲2,240万円
国民健康保険特別会計 (高額医療共同事業拠出金)	81万8千円

活発な合併論議

十二月定例会は十日から十九日までの十日間開かれ、補正予算、条例改正、議員提出議案などを審議し、議員提出議案一件については、討論の後、賛成四、反対七で否決、その他の議案は全員一致で可決しました。
一般質問には十人の議員が登壇し、合併問題を中心に活発な論議が展開されました。

年頭にあたって



勝浦町議会
議長 溝田 義昭

昨年は皆様の暖かいご理解、ご協力により議会活動に精励できましたことに、心から厚くお礼申し上げます。
本年は合併問題も含めて、官から民の発想へ転換しなくてはならない重要な年です。住みよい町づくりのため、皆様のお力をお借りしながら頑張りたいと思いますので、よろしくお願ひ申し上げます。

議員提出議案

可決 安定した公的年金制度の
確立を求める意見書

提出者 福徳議員

賛成者 井出・原田議員

内容 基礎年金の国庫負担率の引き上げを行い、給付額の引き下げを行わないよう要望。

提出先 内閣総理大臣・厚生労働大臣

全員一致で可決しました。

一般会計

5,400

総額



一市三町村衛生組合 し尿処理施設

十四年度決算を認定 (一般会計・特別会計 五十九億八千万円)

総務常任委員会に付託の、十四年度各会計の決算について委員長から「特に留意すべき事項」の意見をつけ認定すべきと報告があり、質疑の後、全員一致で認定しました。

留意事項の主なもの

- クリーンセンターの管理、運営について年次計画的な対応を (住民課)
- 地産、地消を推進し、食についての安全教育を (教育委員会)
- 勝寿会との連携を密にして相乗効果を (勝浦病院)

総務委員長に対する質疑

問 クリーンセンターの年次計画的な対応とは、新たな焼却場の建設も想定されるのか。故障や耐用年数のことも考え、積立をするなど計画的に対応してもらいたい。

答

第4回 臨時会

11月28日、職員給与に関する条例などを審議、可決しました。

- 職員給与を15年4月から期末、勤勉手当を含め、平均2.6%引き下げる。
- 特別職の期末手当を年3.5カ月から3.3カ月に引き下げる。

専決処分の承認
衆議院議員選挙費委託金
4,489,000円

否決

イラクへの自衛隊派遣に 反対する意見書

提出者 原田議員 賛成者 井出議員

内容 武力行使を禁じている憲法と、自衛隊を戦闘地域に送らないとした、イラク特別措置法に違反する。

反対討論 森健・川端・国清議員

日本は国際的な役割を果たすため、イラク復興支援に貢献すべきである。

賛成討論 井出・西浜議員

占領支配する米・英軍を支援するものであり、海外派兵を禁じた憲法を踏みにじることになる。

採決の結果、賛成四人、反対七人で否決されました。

教育委員会委員の任命に同意

勝浦町大字三溪 沢井元一氏

地方分権と財政を勉強 (郡議員研修会)

十一月十三日、上勝町千年の森ふれあい館を視察し、その後、福原ふれあいセンターで県の吉田悦教理事による「地方分権と財政状況」の講演がありました。

総務

給与手当引き下げ

総額で二千万円

十一月二十五日に委員会を開き、第四回臨時会に提出予定の専決処分承認を求めると、特別職・一般職の給与、旅費に関する条例の一部改正、および十二月議会に提出の補正予算について審議しました。

総務課長から 官、民較差をなくすため、十五年四月から一般職の給与、手当など平均二・六%減額をするための条例改正と、旅費に関する条例の一部について説明がありました。

問 今回の引き下げにより、全体でどの位の金額になるのか。

答 総務課長 総額二千万円弱になる。

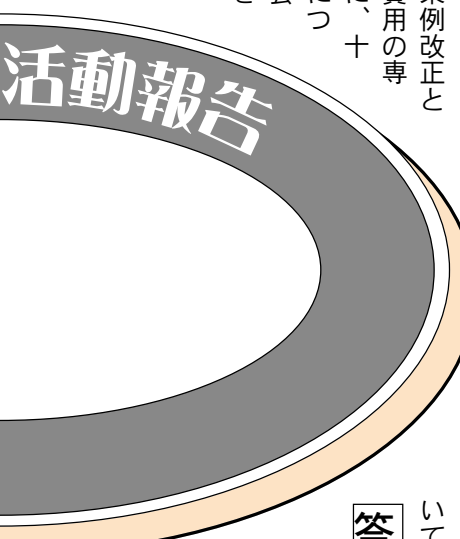
問 通勤手当は最高二十六kmまでで一万八千六百円となっているが、医師など遠距離通勤の場合適用できないことが生じることはないのか。



職員給与を引き下げ

答 総務課長 現在はないが、そういうことになればその時点で対応する。

委員会として 条例改正と衆議院議員選挙費用の専決処分を臨時会に、十五年度補正予算については十二月議会に提出することを認めました。



産業建設

中山間直接支払制度

総額六千四十五万円に

十二月五日に委員会を開き、補正予算などについて審議しました。また、県営畑総事業、市民農園の現状と「ふれあいの里さかもと」の決算報告がありました。

建設課長から 県単林道事業波羅尾岩屋線の舗装工事について今回の地元負担金百五万円は星谷側の支払いであるとの説明がありました。

(地元負担金は中山、異合交互)
委員会として 了承しました。
産業振興課長から 十五年度、中山間直接支払の総額は六千四十五万円であるとの説明を受け、委員会として 了承しました。

県営畑総事業

問 農道補修は災害待ちの状態か。また、町移管について町長の考えは。

答 町長 県に補修依頼をしている。町単独ではできない。町に移管すればお手上げ状態になる。

市民農園

地区説明会を二回実施し



ふれあいの里さかもとの体験学習

だが、みかんの木を伐採したことに對しての憤りがあり、市民農園の話に入らず、進展なしの状態であると報告がありました。

「ふれあいの里さかもと」決算報告

利用者数	7,431人
売上高	39,854,133円
経費	43,611,108円
損益	△3,756,975円
町負担 (水道光熱費)	3,483,853円
差引	△273,122円
(H14年10月～H15年9月まで)	

問 水道光熱費が当初計画の倍になっているが。

答 町長 雇用の場もでき、町内に三千万円の経済効果をもたらす地域の活性化につながっている。



障害者作業所になる横瀬老人憩いの家

十二月五日に委員会を開き、平成十五年度一般会計、特別会計の補正予算、条例改正などを審議しました。

また、病院事務局長から、現在の看護師長が三月で定年退職する。後任については、院長の希望もあり、院外から迎え、院内改革と次期院長の育成を行いたい。身分は臨時職員としたいと報告がありました。

問 院内に抵抗はないか。

答 病院事務局長 看護師の中にも院外からの希望があった。

委員会として 了承しました。

横瀬老人憩いの家を廃止

福祉課長から 廃止の条例を提案したいと報告がありました。

問 障害者の作業所をするため廃止するのか。

答 福祉課長 利用者減と財政面もある。社会福祉協議会から、小規模作業所として活用させてほしいと要望があった。

農業集落排水特別会計 工事請負費の補正

住民課長から 災害復旧工事に関連して、管移設の工事費百八万二千円が必要と説明がありました。

問 排水管の移動は災害復旧の対象にならなかったのか。

答 住民課長 補助対象として認めてもらえなかった。委員会として 補正予算、条例改正を十二月定例会に上程することを認めました。

委員会の

厚生常任委員会 視察報告

10月9～11日



グループホーム「ひばり」

民活で広域ごみ処理施設

千葉県木更津市

かずさクリーンシステム

かずさクリーンシステムは、木更津市にある新日本製鉄の用地に、木更津、君津、富津、袖ヶ浦の四市と新日本製鉄、エコム、市川環境エンジニアリングが出資し、平成十年に設立した第三セクターの会社です。資本金二十五億円の約半分を新日本製鉄が出資しており、各市の負担は九割です。現在、日量二百トンの一般廃棄物と一部産業廃棄物の処理を行

っています。平成十八年に増設の計画があり、これが完成すると、四市から排出されるごみ、し尿、浄化槽汚泥や焼却灰まで溶融処理して、資源化できるところです。

勝名地区と小松島市で、東部一ブロック広域ごみ処理施設の計画を進めています。もつと枠組みを大きくして民間活力を導入し、残さが資源化できる溶融処理を考える必要があるのではないかと感じました。

痴呆性老人

家庭のような環境で

栃木県今市市のグループホーム「ひばり」は、少人数の痴呆のお年寄りが、スタッフと共に家庭に近い環境で共同生活を送っています。食事の準備や洗濯掃除、買い物、縫い物、庭の手入れなども一緒に、痴呆症状の改善や、進行を緩めるよう努めています。

利用者の笑顔から暖かい対応は読み取れましたが、家族が施設を訪れても利用料金を支払って、本人に会わずに帰る事が多いのが悩みとのことです。

勝浦高校の灯を消すな

県へ存続を働きかける（教育長）

大西 一司 議員



いるが、勝高は昨年度七十人、今年は六十五人の定員となっている。存続問題が持ち上がっているが、対応は。

答 教育長 地域に根ざした魅力ある学校への取り組みをさらに進め、保護者会、教育振興会等の協力を得ながら存続に向けて県教委に強く働きかけたい。

答 町長 厳しい少子化の中で、しっかりと教育方針を立て、県の情勢を見ながらPTA、関係議員の応援も得て、

問 県教委によると、一学年八十人を二年連続で割り込めば統廃合の対象になるとされて



勝浦高校の灯を消すな

存続に向けて一生懸命取り組んでいく。

ごみ問題

集積所に

不法投棄が多いが

悪質者は警察に通報も（住民課長）

問 ごみ集積所に指定の袋以外のものが多く見られ、分別も徹底できていない。また、町外の人も持ち込んでいると聞くが、対応は。

答 山平住民課長 保健部長会議で十分協議をしていく。

答 町長 一方で緊急雇用で行っているパトロールの強化を進め、悪質者は警察に通報することも考えている。

また、

サルビア作業所に 身障者用トイレを

前向きに検討 したい（町長）

問 障害者授産施設サルビア作業所に、



サルビア作業所に身障者用トイレの設置を

身障者用トイレが必要だ早く設置を。

答 町長 施設がさらに有効に使えるように、できるだけ前向きに検討していきたい。

三位一体の改革 本町への影響は

ますます不利に なる（総務課長）

問 国と地方の三位一体の改革が進む中で、小泉首相が示した「来年度補助金一兆円の削減」は本町財政にどのような影響があるのか。

答 戸川総務課長 国の方針の中で確定

していない点もあり、試算値は現在示せないが、税源が少なく、交付税の依存度の高い本町にとってますます不利になると思う。

問 財務省は、市町村に設置されている農業委員会に対し交付金を大幅減額する方針だが、その影響と対応は。

答 国清産業振興課長 今後、三年間で二十％の削減予定で十六年度では七％程度だが、現在、交付金の経費に占める率が二十六％でますます一般財源の負担が増える。

組織のスリム化、効率化等を農業委員会等で検討していきたい。

合併問題

アンケート結果を 重視せよ

結果を参考に するが（町長）

問 合併の法期限が迫ってきている。アンケート調査の実施から三カ月以上経過しているが、その間の合併作業の経緯と今後の取り組みは。

答 町長 行財政改革大綱の見直し中であり、大綱が決まれば議会、町民に示し、特別委員会等で意見を聞きながら、合併に向かって進めていきたい。

問 アンケート結果を重視し、地方制度調査会の答申を尊重すべきと思うが。

答 町長 アンケートは重視するが、すべてではない。参考材料の一つとしたい。調査会の答申も人口一万人未満でも財政支援は変わらないとの見解だ。いろいろな意見を聞き、慎重に合併を進めていきたい。

特養

増床計画の状況は

二十床の増床が認められた（福祉課長）

森 敏治 議員



勝寿会と連携し協力した。

今後の 広域農道計画は

公共事業の見直し、町の厳しい財政状況の中で、どの程度進ん

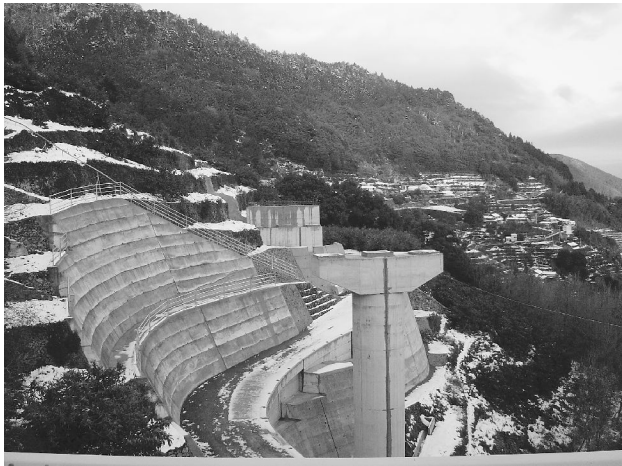
でいるのか。また、今後の基本計画はどのようになっているのか。

答 石尾建設課長 町内での進ちよく率は、七十%である。平成十六年度から上勝町、徳島市、佐那河内村が一つのブロックとして事業を推進し、平成二十五年に完成する計画である。

この事業は一番有利な補助事業であり、雇用の確保、町内の需要の喚起につながる。早期完成に向け努力しては。

この事業は一番有利な補助事業であり、雇用の確保、町内の需要の喚起につながる。早期完成に向け努力しては。

問 特別養護老人ホームの増床はどうなっているのか。また、住民福祉向上のため、何らかの財政支援を検討しているか。
答 光井福祉課長 介護保険計画の見直しを行ったあと、勝寿会から喜楽園の三十床増床を県に申請し、二十床の増床が認められた。町の財政も非常に厳しく支援は難しいが、住民福祉につながることから



早期完成に向け努力を（東部広域農道）

石尾建設課長 完成しなければならないことを前提に、トンネル、橋りょう等設計変更しながら、できるだけ路床を延長し、予算の許す範囲で完成に向け努力したい。



ごみフェンスの塗装を

答 山平住民課長 町内には五十カ所にフェンスがあり、地元からの申し出により、塗装や修繕が必要な所は原材料を支給し対応している。

ごみフェンスを塗装しては

ごみフェンスは古くなって赤サビが出てきている。原材料を支給し、地元関係者に塗装をしてもらっては。

問 町内には教育関係、産業関係、福祉関係等の公共施設が沢山ある。町の財政も厳しいことから、利用料金を見直してはどうか。

町内には教育関係、産業関係、福祉関係等の公共施設が沢山ある。町の財政も厳しいことから、利用料金を見直してはどうか。

戸川総務課長 行財政改革の中で各種団体の補助金を一割カットしたが、施設の利用料金は据え置いた。住民生活や文化活動等に影響が大きいので、町民の理解を得ながら検討したい。

三月に合併協議会が解散、その後アンケート調査が実施されたが、その間何の進展もなく今日に至っている。少子高齢化が進み、地方交付税も毎年削減されている状況の中、合併についてどう考えているか。また、一定の方向を示すべきと思うが。

合併問題
一定の方向を示すべきだ

答 町長 今までの觀念にとらわれず、国や県に追随するのではなく、こちらから指導するくらいの新しい事業計画を考えていきたい。また、現状の問題を先送りすることなく、合併に向け努力していく。

町長 今までの觀念にとらわれず、国や県に追随するのではなく、こちらから指導するくらいの新しい事業計画を考えていきたい。また、現状の問題を先送りすることなく、合併に向け努力していく。

町長 今までの觀念にとらわれず、国や県に追随するのではなく、こちらから指導するくらいの新しい事業計画を考えていきたい。また、現状の問題を先送りすることなく、合併に向け努力していく。

合併問題

町長の姿勢が次第に弱い 「なんでだろう」

後退はしていない（町長）

森 健 議員



問 町長が、近隣の市や町の長と合併について話し合ったということ聞いたことがない。一市四町の時ほど合併の必要性を言わなくなったのは「なんでだろう」との住民の声があるが。

答 町長 後退していいわけではない。議会とも協議しながら一番ベターな合併を目指している。



小松島市への動きかけは

問 地方制度調査会の答申によると、人口の少ないところは普通の自治体扱いはされないと聞く。上勝町と合併しても一万人にも満たない。残るは小松島市だけに、働きかけをしないのは「なんでだろう」との住民の疑問に対しては。

答 町長 小松島市は、今のところすぐに合併の話をするというような意思表示が難しいような状況である。現実を見て法期限内にやれる相手の上勝町と勉強会を始めようと、トップ同士では話し合っている。

小松島市とは、今後、調整する中で協議していくという基本姿勢である。ベターな合併をと

問 の答弁はどういう意味か。また、上勝町の勉強会は何の勉強をいつまでするつもりか。

答 町長 どのような合併であっても後悔することのないようなものにしなければならぬ。上勝町との勉強会では、両町の産業、環境、教育、行革などすべての問題を煮詰めて、一月中旬ぐらいには方向を示し、両町議会で判断していただきたい。

問 合併に対するアンケートは町民の意思が示されたものと思う。単なる参考では済まされないと。どのよう理解しているのか。

答 町長 結果は重視しなければならない。

問 NHKの時歴史が動いた」の松平定知氏の話を聞いたが、今、まさに勝浦の歴史を動かせられるのは町長だ。

答 町の将来のために決断すべき時だと思うが。町長 トップとしての基本姿勢は出す。判断するのは議会である。共に町の将来を考えていただきたい。



「その時歴史が動いた」松平定知氏の講演

合併問題

梓組みを早く示すべきだ

水面下で検討している（町長）

福德重二 議員



町合併、二つの選択肢を積極的に考えてはどうか。

答 町長 各市、町にはそれぞれの事情があるが、話し合いはしている。

問 町長は、勝浦郡は一つであると思うが、上勝町だけを視野に気を使っているのではないかも、上勝町がだめになつたら、残る小松島市と話をしても間に合わない。同時進行すべきでないか。

答 また、議会や町民の意見をよく聞き、慎重に判断したいと言っているが、他の町村長は、強い信念と自らの意思で方向を示している。今議会で構想を具体的に示すべきである。

問 町長、百年先を思うならば、住民アンケート結果の一、二番である小松島市、上勝町との一市二町合併、上勝町との二

市四町合併の構想が失敗してから半年以上になる。平成十七年三月三十一日の特例法期限内には合併すると言っているのだから、早く梓組みを示すべきだ。

できるのか

市民農園

問 勝浦高校実習園跡地に市民農園を計画しているが、地域には「説明不足だ」との声が多い。実現は難しいのでは。

答 国清産業振興課長 地域の活性化を図ることが目的であり、十分説明して進めていきたい。

国民年金の

滞納率は

問 国民年金は掛けておかなければ、将来給付を受けることができない。全国では四十%の人が滞納しているが、町の状況は。

答 山平住民課長 勝浦町の滞納者は二十七%である。

問 山平住民課長 勝浦町の滞納者は二十%である。率を上げるのか。

答 山平住民課長 国が徴収することに なっているが、社会保険庁では、督促状送付や、



市民農園で地域の活性化を



授業時間数の確保は

電話催促をしている。長期滞納者には、法的手続きもとるとの事である。

とも授業を計画するなど、苦勞をしている。

二期制導入は

問 学校週五日制により、授業時間はどれくらい減つたのか。

答 教育長 十四年度で七十時間程度減っている。

問 二期制を導入すれば何時間確保できるか。また、時間の確保より、内容でカバーできないか。

答 教育長 三十時間校は始業式、終業式のあ

ごみ焼却施設の 今後は

問 小松島市と勝名地区で広域ごみ処理施設設置を長年話し合っているが、進展していない。梓組みを大きくして、焼却灰の出ない溶融炉にしてはどうか。

答 山平住民課長 今の梓組みは変えられない。また、施設は焼却灰の出る焼却方法であり、残さは、十九年四月完成の松茂の最終処分場へ搬出する。

中山間直接支払制度の成果は

環境美化などに効果 (産業振興課長)

原田昭三 議員



ことと、後継者不足が大
きな問題である。

問 「事業の継続を」
と農家からの要望

が多いが、今後の対応は、
答 国清産業振興課長
国の補助金削減に
中山間も含まれているが、
継続はもちろん、内容の
改善も要望していきたい。

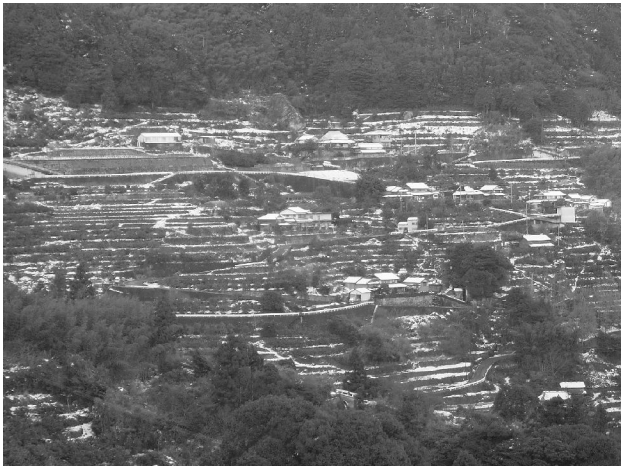
地震対策 個人住宅の 耐震診断を

個人で対応して
もらう (建設課長)

問 公共施設と個人住
宅の耐震診断をす

る考えは。
答 石尾建設課長 町
道、橋の点検は必
要と思うが、公共施設に
ついては予算の関係もあ
る。個人住宅については
今は考えていない。

問 事業は四年間が経
過したが、その成
果と今後の課題は。
答 国清産業振興課長
町内で二十六の集
落協定が結ばれており、
面積は四百六十七haであ
る。事業目的は耕作放棄
地を出さない事と、農地
の多面的機能を発揮させ
る事である。成果として
は、各集落の共同取り組
み活動により、農道や水
路の管理、また、環境美
化などに効果が出ている。
今後の課題として、税
務処理が非常にはん雑な



環境美化などに効果がある直接支払制度



耐震診断が必要な星谷橋

問 個人住宅も希望者
を募り、町がまと

めて診断をし、そのため
の助成もすべきでは。

答 石尾建設課長 希
望がある場合は、

業者などの情報は提供す
るが、診断については個
人に対応してもらいたい。

合併問題

町広報と

食い違っているのでは

問 十二月の広報「か
つら」では、一

万人以上の合併を目指す
と書かれていたが、町長
の答弁と広報の内容が食
い違うのではないか。

答 町長 広報は、平
成十五年十一月十
三日の地方制度調査会の
最終答申を記載したもの
である。最近の情報では、
法期限内に合併した場合
は、一万人以下でもかま
わないとのことである。

問 広報では「基礎的
自治体としての規

模一万人以上を備えるた
め、現行合併特例法期限
内での町村合併を目指す
と書かれているが撤回す
るのか。また、上勝町と

の勉強会だけで小松島市
とはしないのか。

答 町長 とりあえず、
上勝町と勉強会を
もつが、基本としては、
住民の代表である議会の
意見を聞いて進めていき
たい。

同和団体町村会費負担金 撤廃すべきでは

問 町財政がひっ迫し
ている時、同和団
体に対する町村会費負担金

答 町長 この問題に
ついてはいつも町
村会で削減するよう申し
入れている。三年前から
毎年削減されている。

問 町長は委員会の途
中でも退席する事
がある。委員会と葬式と
どっちが大切なのか。町
長としての職務を全うし
ていない。

答 町長 百歳以上の
方に対しては、町
長が弔辞を述べる習慣に
なっている。今後、重
なった場合は相談してい
きたい。

ごみ問題

ペットボトルの分別収集を

新年度に向け検討する（住民課長）

松田 貴志 議員



問 ペットボトルの分別収集やリサイクルが県内で、勝浦町だけが実施できていない。循環型社会の構築に向け、早急に取り組むべきでは、

答 山平住民課長 現場の職員からの要

問 望もあり、分別収集計画の見直しも含め、新年度に向け検討していく。

答 東部一ブロックごみ処理施設広域整備協議会の話し合いは進展していない。クリーンセンターの耐用年数にも限りがある。このような状況の中で勝浦町のごみ行政は、限られた選択肢の中でどのように対応するのか。

問 東部一ブロックごみ処理施設広域整備協議会の話し合いは進展していない。クリーンセンターの耐用年数にも限りがある。このような状況の中で勝浦町のごみ行政は、限られた選択肢の中でどのように対応するのか。

答 山平住民課長 東部一ブロックでの協議が進んでおらず、現

問 現在、焼却処分されているプラスチック類を、今後どのように処理するのか。

答 山平住民課長 プラスチック類を燃やすと高温になり、焼却炉にダメージを与える。また、他のごみと一緒に焼却すると、ダイオキシンが発生しやすくなる。分析結果の数値が高ければ県外搬出も考えながら取り組む。



ペットボトルの分別収集を

在の焼却炉をできるだけ長持ちさせるため、経費はかかるが早目にオーバーホールを行っていく。

防災対策

地域ごとに

自主防災組織を

問 今世紀前半にも起こるとされている「東南海、南海地震」の防災対策推進地域に勝浦町も指定された。災害発生時の初期活動において重要視されている自主防災組織の整備に、どのように取り組んでいるか。

答 戸川総務課長 自主防災に必要な器具を区長会を通じて要望してもらい、予算の許す中で整備している。また、国や県の防災対策への取り組みを見ながら、町としても努力していく。



大地震に備え組織の強化を

問 戸川総務課長 新たな防災対策措置法の中で補助事業等により、地元と協議しながら予算の範囲で進めていく。

答 戸川総務課長 新たな防災対策措置法の中で補助事業等により、地元と協議しながら予算の範囲で進めていく。

問 戸川総務課長 新たな防災対策措置法の中で補助事業等により、地元と協議しながら予算の範囲で進めていく。

答 町長 行政改革を進める中で持続可能な基本構想を示したい。また、きらりと光る自治体を目指し、勝浦の自然や歴史、文化などを生かしたまちづくりに取り組むたい。

合併問題

将来のビジョンは

描けているか

問 アンケート結果により、勝浦の進む道が何パターンかに絞ら

高校入試改革

生徒への対応は

希釈校を早く決めるよう指導(教育長)



国清 栄議員

それぞれである。

問 中学校側の生徒指導の方法は。

答 教育長 新しい入試制度や方法等、

学年会や保護者会で説明し、行きたい高校を早く見つけるよう指導している。

問 勝浦には時代のニーズに対応できる

すばらしい医療・福祉専門学校がある。地元高校から専門学校によい生徒を数多く送れるよう工夫が必要と思うが。

答 教育長 現在勝浦高校から専門学校への推薦枠は一人である。

今後、地元高校と専門学校が連携していけるよう努力をしたい。

答 教育長 勝浦高校

希望者は少ないが、後期になれば増えるので影響は余りないのではないかとと思われる。生徒、保護者の受け止めは受験の複数化で喜んでいますが、不合格の複数化もありそれ

デジタル化の

対応を早く

コンサルにお願いしたいと思っております。(総務課長)

問 次世代の地域情報化に向け、ケーブルテレビを含めたデジタル化の問題は避けて通れ

ない。今後、勝浦としてどのように受け入れていくのか。
答 戸川総務課長 十月四日に業者が来て上勝と共に勉強会をした。かなりの費用がかかり町単独では難しい。今後、ケーブルテレビの施設整備の方法、維持管理運営や補助事業の対応等検討したい。



勝高からもっと多くの入学生を

問

住民に対しての認識を深めてもらう方法や、今後の構想は。

答 戸川総務課長 平成十六年度の当初

予算で、この事業を起す方法等についてコンサルタントに委託したい。住民に対しては広報等で情報を流していきたい。

行政改革

調査会の

答申時期は

二月中・下旬頃になる(助役)

問 住民代表による行政改革調査会で現在取りまとめをお願いしているが重点項目と時期はいつ頃になるのか。

答 助役 行政改革調査会は六人の委員

にお願ひし、厳しい財政状況の中で一年前倒しをして見直しを行っている。主要事項は四点、合併の推進、人件費の削減、協同型社会への移行、行政システムの再構築である。まとめの時期は二月中・下旬になると思う。

合併問題

職員の認識は

より大きな枠組みが大勢である(助役)

問 直接行政に携わる職員は、合併に対してどのような考え方を

持っているのか。
答 助役 職員は、より大きな枠組みの合併が必要との認識である。

上勝、小松島に 対して等距離で

問 町長も小松島市長も法期限内の合併を目指すと言っている。

上勝町長は期限内の合併といった公式的な見解は示していないので、自立も含め対応していくといったスタンスと思われる。今後小松島、上勝に対して等距離で合併に向けての努力が必要だ。

答 町長 上勝とは勉強会も含めて話し合いをしていく。小松島については非公式に助役とも接触してきている。

合併問題

上勝との協議が不調の時は

そうならないよう努力する以外に
ない
(町長)

川端雅夫議員



合併に対してどのような意識を持っているのか。

答 戸川総務課長 法期限内の合併を望んでおり、枠組みについても一市二町、一市一町の大きな合併を望んでいる。職員、管理職とも意見は一致している。

問 三月定例会では、勝浦町議選挙が済んでから、次は十一月十三日の地方制度調査会の

答申を待つてから、九月定例会では上勝の町議選が済んでからと問題を先おくりしてきた。この九月月間どのような協議をしてきたのか。

答 町長 一市二町のトップ会談を開いたが、それぞれ事情がある。一市二町の中では、勝浦町が一番進んでいると思う。

問 町長は五十年、百年先を見通している。人口二千人余りの上勝と合併して、将来に向けた町づくりができるのか。

答 町長 人口は二〇〇六年をピークに減りつつづけると言われて



魅力ある高校への取り組みを

いる。現在は、人口の多い都市よりは、行政サービスが充実していると思う。

問 もし上勝町との協議が不調に終わった場合、どうするのか。

答 町長 そうならないうような一生懸命に努力する以外にない。

クリーンセンター 従業員の 健康診断は

町立病院で実施
(住民課長)

問 東部一ブロックの協議が停滞してい

区のごみは、地区外の集積場には持ち込まないなどの対策をしていますが、また、ごみ袋の販売は保健部長のみに限定しては。

答 山平住民課長 基本的に、近くの集積場に出すのがよいと思う。また、指定の袋は商店で取り扱っているが、保健部長も留守が多く、利用者は便利であると言っている。

勝浦高校は 魅力ある高校か

問 勝浦高校はボランティアなど、地域に根ざした取り組みをしているとのことだが、中学生にとって魅力ある高校なのか。徳島北高校では民間の校長を登用し、英語教育を重視するなど他の学校にない目標を掲げているが。

答 教育長 勝浦高校の評議員、教育振興会の役員で、教育内容の充実などの取り組みをしており、町としても継続のため努力していきたい。

問 町長は、アンケートの結果に沿って一市二町で協議を進めていかないのか。住民に対してどう説明するのか。

答 町長 住民の意見は大きく三つに分かれている。情報を分析しながら進めていきたい。職員で検討委員会を発足しているが、アンケートの結果、地方制度調査会の答申、財政の中期見直しを受けて、



2町合併の勉強会が進む

母子・父子家庭

相談体制の充実を

充実に努力したい（福祉課長）

井出美智子 議員



十分に保証されない。もっときめの細かい対応をしてはどうか。
答 光井福祉課長 今後、相談体制の充実に努力していく。

ダイオキシンの

ゼロ宣言を

問

ダイオキシンの発生源である塩化ビニールの分別を徹底して焼却するのをやめたらどうか。ダイオキシンゼロ宣言を目指す考えは。

答

山平住民課長 研究、検討していきたい。
問 町内各地域で上勝町の投票が目撃されているが、対応は。



塩ビの分別を徹底しては

合併問題

広報と町長発言に

食い違い

問

町の広報は、町が責任を持って発行しているはずだ。町長は上勝町と勉強会をすると発言したが、十二月広報で「一万人以上の合併を目指す」と書かれている事と食い違っている。どういうことか。

答

町長 広報は、あくまで国の地方制度調査会の答申を受けてのシミュレーションに過ぎない。

問

上勝町長は、十二月議会会で「私も、はっきり言って合併はしたくありません」と答弁している。自立や小松島市との合併など、いろいろな方向を検討すべきではないか。

答

町長 上勝町長とは対話を重ねている。とりあえず上勝町と勉強会をしていく。

問

社会情勢の変化に伴い、母子・父子家庭が増えているが、町の対応は。

答

光井福祉課長 母子家庭五十九世帯、父子家庭十六世帯の相談に応じている。また、中央福祉事務所や民生児童委員、母子福祉会なども協力して対応している。

問

同居している親族に支える力が弱い場合、一人親家庭では、健やかな子どもの成長が



健やかな子どもの成長を

国民健康保険料

減免基準を

設けては

答

山平住民課長 数カ月前に申し入れをしているが、再度申し入れをしたい。

問

ある。無保険者については、届出制のため把握できていない。
答 生活困窮者の減免をすることが滞納を減らすことになり、国庫補助金の減額を抑えることになる。減免基準を設けては。

答

町長 国保は、相互扶助が基本であるが、減免基準を設けた方が、町にとってプラスになるかどうかシミュレーションをしてみたい。

答

島務課長 百五十二世帯の滞納が実情は。

問

倒産やリストラにより、国保加入者が増加していると思われるが、滞納や無保険者の実情は。

新年度予算の見通しは

財政厳しく今年度以下の見通し

(総務課長)

西浜勝己議員



問 町長 合併問題と行財政改革を最優先と考える。

答 戸川総務課長 情報化社会への取り組みと地震対策、それに伴う自主防災組織の体制強化等があるが、十五年度の予算以下におさめなければ財政運営は難しい。

地籍調査 棚野地区を

優先せよ

受け入れ体制の整った地区から

(建設課長)

問 九月議会で地元体制の整った地区を優先するとの答弁であったが、変わりはないか。

答 町長 前回の答弁通り進めていきたい。

問 棚野地区は地元の名前を完了し、世



地籍調査は受け入れ体制の整った地区から

話人六十四人を選出、申請書を提出し体制を確立している。最優先すべきと思うが。

答 石尾建設課長 十月二十八日付で、区

長代表名で申請書が出されている。体制が整っているので優先し早期に取り組みたい。

特養増床計画

協力度制は

病院との相乗効果に努める (町長)

問 念願の特養老人ホーム増床計画は二十床増設の内示があり、勝寿会主催による地元関係者説明会が開かれた。今後、町の協力度制が必要だ。

答 町長 町行政のできる限りの範囲で、財政支援以外の協力をしたい。また、病院との連携も含めて相乗効果が上がるように努めていきたい。

答 光井福祉課長 地元説明会で、関係者に事業内容等を説明し理解をもらった。



特別養護老人ホーム増床予定地

今後、病院、勝寿会、町と連携を取って、住民に心配をかけないよう取り組んでいく。

をかける覚悟が必要だ。また、補佐する助役の見解と総務課長の事務的作業スケジュールを示せ

答 町長 合併実現に向けては、相手のあることだが、政治生命をかけて頑張りたい。

合併問題

政治生命をかけて

取り組み

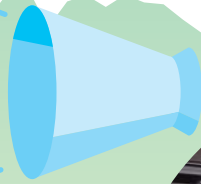
合併実現に向けて頑張る (町長)

答 助役 補佐する立場として、町長が法期限内合併を目指すことになれば、一生懸命取り組みたい。

問 法期限内合併を目指すと言いますが、住民説明会や事務手続き等多くの作業が必要だ。決断を早くしないと間に合わない。町長は政治生命

答 戸川総務課長 法期限内の場合、一月中に方向を決定し、遅くとも三月にまとめ、四月には法定協議会を設置しなければ間に合わない。

声のひろば



みんなが仲よく暮せる町に



五見美華さん(棚野)
(長男 昇明君といっしょに)

- Q** ご家族は何人ですか。
A 現在は、どこにも勤めていません。
- Q** お仕事は。
A 現在は、どこにも勤めていません。
- Q** 五年になりますか。
A 五年になります。
- Q** 勝浦町に来て何年になりますか。
A 五年になります。
- Q** 故郷はどんなところでですか。
A 中国遼寧省大連市で、空港から二時間で帰れます。街は大きく、美しい所です。

- Q** この町に来て驚いたことや感心したことは。
A 青い空と清らかな川の流れに感動しました。
- Q** 好きな言葉は。
A ヌリー(努力)、エイチン(愛情)、インネー(忍耐)です。
- Q** 趣味は。
A 料理(中国)です。
- Q** どんな希望を持っていますか。
A 料理(中国)です。

- Q** 勝浦町の印象は。
A 美しい山に囲まれて、秋のみかんの頃は大変うれしく思います。
- Q** 勝浦町の印象は。
A 美しい山に囲まれて、秋のみかんの頃は大変うれしく思います。

- Q** 勝浦町がどんな町になればよいと思いますか。
A みんなが仲よく暮せる町になれば良いと思います。
- Q** 勝浦町がどんな町になればよいと思いますか。
A みんなが仲よく暮せる町になれば良いと思います。



がんばる勝浦郡チーム

一年の計は元旦にあり
何事も初めが肝心。年が明けると新しいことに取り組む意欲が高まります。元旦に届いた年賀状を見て、今年こそ習字をと思いましたが一月月過ぎた今、その意欲はどこへやら。
そんな思いを繰り返しながら平成も早十六年目を迎えました。
「大化」以来二百四十七番目の元号「平成」は、天皇の大権によらず、国民初の政令によるものでした。世界各地で起きている紛争を見るにつけ、「天地に平和が達成される」との意味を改めてかみしめたいと思います。
合併問題がいよいよ正念場を迎える中で、今年も「議会、たより」を通じ正確な情報をお知らせしたいと思っております。(二司)



編集後記